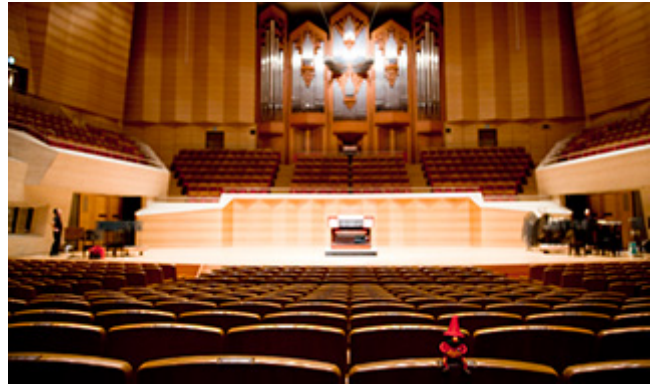


札幌交響楽団は、毎年定期的に東京で公演を行っていますが、今年の注目は指揮者。

チェコの巨匠、ラドミル・エリシュカ氏が指揮を振るんです。

エリシュカ氏は、チェコの音楽大学で指揮科の先生をしていた経歴の持ち主です。

彼の元からたくさんの若い優れた指揮者が登場したので、実際に彼を日本の演奏会に呼んでみようという話がでて、日本のオーケストラとの協演が始まりました。



サントリーホール

札幌交響楽団とは、2008年から長く関係を続けてきていますが、そのゴールデンコンビが東京で聞けるチャンスはなかなかありません。

ぜひこの機会に聞いてください。

「札幌交響楽団 東京公演2016」は、アークヒルズの「サントリーホール」にて上演されます。

(2016.03.01)

ラドミル・エリシュカのドヴォルジャークをサントリーホールで

ラドミル・エリシュカ氏と札幌交響楽団は、2006年に初協演して以来のコンビ。2008年からは首席客演指揮者を務め、2015年には同団の名誉指揮者に就任しています。

2013年までチェコ・ドヴォルジャーク協会の会長を務めたほどの巨匠が、今回の公演では、得意のドヴォルジャークとチャイコフスキー等を指揮する。東京から札幌まで足を運ぶファンもいるというこの公演。ぜひ、このチャンスに一度聞いてみてはいかがでしょうか。

開催概要

- 期間：2016年3月8日（火） 19:00開演
- 場所：サントリーホール 大ホール（アークヒルズ）
- 入場料：S席 ¥6,000、A席 ¥5,000、B席 ¥4,000、C席 ¥3,000
- ▶ 札幌交響楽団 東京公演2016

ラドミル・エリシュカ：指揮者

1931年チェコ共和国生まれ。ブルノのヤナーチェク音楽アカデミーで指揮を学び、レオシュ・ヤナーチェクの高弟ブジェチスラフ・バカラに師事。1968年にカルロヴィヴァリ交響楽団の首席指揮者を選ぶためのコンクールに参加し優勝。以降1990年まで首席指揮者兼音楽監督を務める。1978年、プラハ音楽アカデミーの指揮科に招かれ、33年間教鞭を取り、そのうち17年間は教授を務めた。

日本には2004年に初来日し、東京フィルハーモニー交響楽団と名古屋フィルハーモニー交響楽団を指

揮。それまで活動がチェコ国内中心であったため、日本では最近までその名を知られていなかったが、2004年以後は日本でも活動を始め、2008年からは札幌交響楽団の首席客演指揮者を務め、2015年には同団の名誉指揮者となる。

プロフィール



フリーの編集者を経て、1990年からクラシック音楽中心のライターとして活動を始め。現在はクラシック音楽専門誌に定期的にインタビュー、批評などを執筆。その他、クラシック音楽の講座、コンサートのプレトークを担当することもある。ミュンヘン国際音楽コンクールなど、世界的なコンクールの現地取材も経験。最も関心のあるジャンルは17～18世紀のオペラで、その上演を観るために、海外へ出かけている。